ご注意：

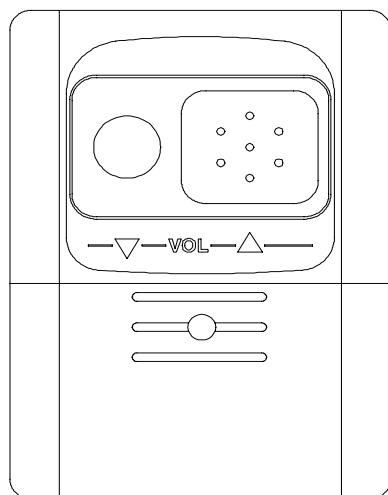
本書は取り扱い説明書から注意文など、製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したものです。操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった場合にお使い頂く事を念頭に編集しており、正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。本書はDJ-RX2とは互換性がありません。

尚、正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。

http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

ALINCO

特定小電力トランシーバー専用受信機

DJ-RX2C
取扱説明書

アルインコの受信機をお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。
ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

付属品

開梱しましたら、付属品を確認してください。

- □ 本体　DJ-RX2C
- □ イヤホン
- □ ネックストラップ
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 保証書

注意　・保証書に販売店による販売日の記載がないと保証の対象外となり、修理はすべて有償となります。記載されていない時は、レシートなど製品名と販売日が証明できる書類と合わせて保管してください。

※本機は単 4 形乾電池または EBP-68（ニッケル水素充電池）でご使用ください。市販の充電池をご使用になっての不具合は保証の対象外とさせていただきますのでご了承ください。

乾電池に関するご注意

●乾電池は、使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。

1．使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
2．2 本とも同じ種類の乾電池を使用する。
3．分解、加熱しない。
4．充電しない。
5．長期間使用しないときは、乾電池を本体から取り出しておく。

市販の単 4 形充電池について

●容量・電圧及びその他の仕様が弊社の製品と合わない可能性があり、故障の原因となりますので市販の充電池は絶対に使用しないでください。

●弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池は容量や構造の違いから、充電をおこなうと故障や事故の原因となる可能性がありますので、絶対に充電しないでください。

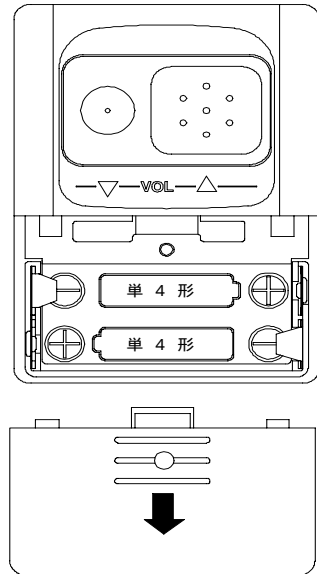
乾電池の入れ方

乾電池を次のように装着します。

①カバーを開ける

突起を利用して電池カバーを下方向にスライドさせます。

②電池を入れる

市販の単 4 形乾電池または EBP-68 を、ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがって装着します。

注意
- +/-の向きを間違えないように注意してください。
- 電池は常に同じ種類の新しいもので使用、交換してください。
- 電池の交換は本体の電源スイッチを OFF にしてからおこなってください。

③カバーを閉める

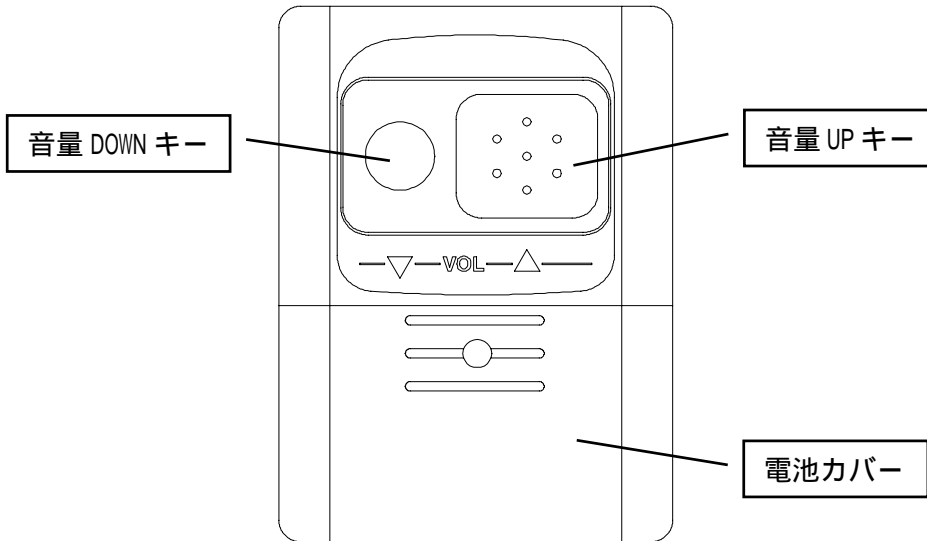
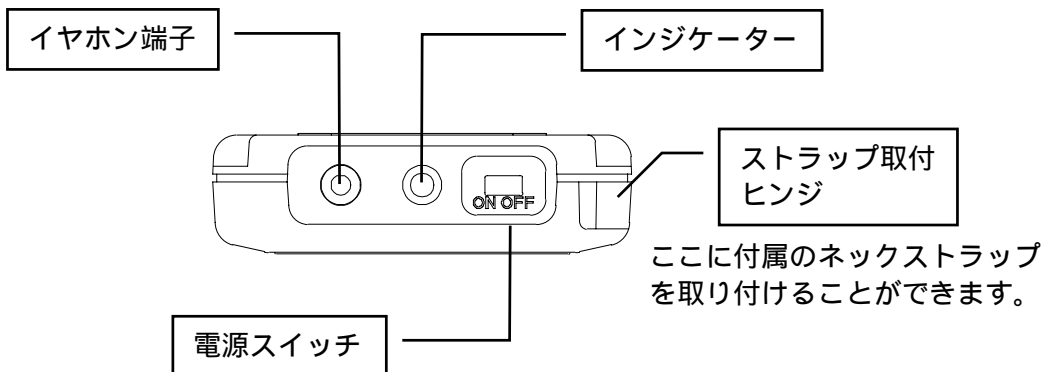
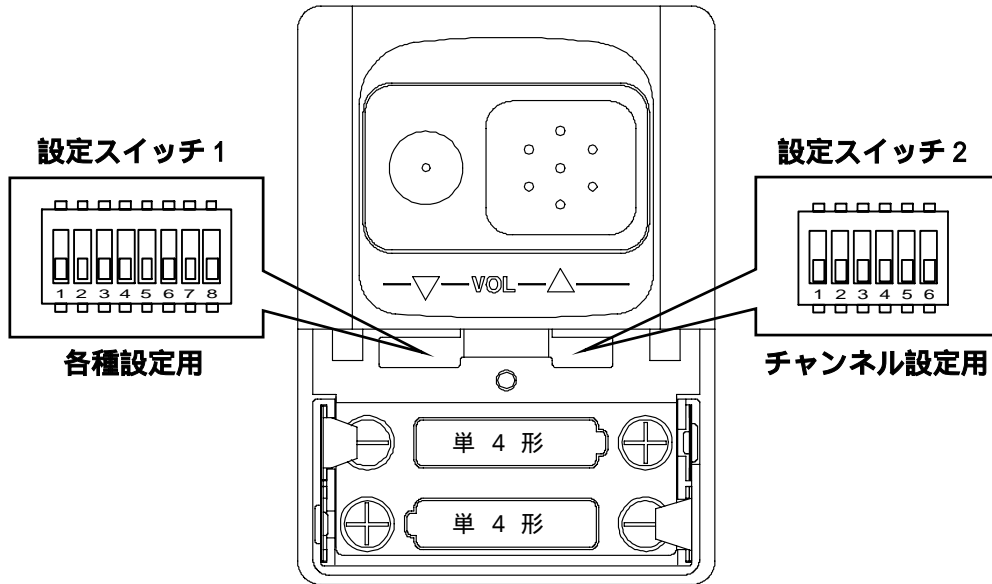
ツメを合わせ、カバーを閉めます。
きちんと閉まっていることを確認してください。

各部の名称

本機の各部の名称を説明します。各部のはたらきは P.14～P.15 に詳しく説明しています。

■　前面部

■　上面部

ここに付属のネックストラップを取り付けることができます。

■　電池カバー内部

設定スイッチ 1	
1	グループ番号設定
2	
3	
4	
5	
6	
7	コンパンダー機能設定
8	ニッケル水素充電池(EBP-68) 充電機能設定

設定スイッチ 2	
1	チャンネル設定
2	
3	
4	
5	
6	交互通話／中継通信設定

各部のはたらき

本機の各部のはたらきを説明します。

□　音量 UP キー
　音量を上げるときに使用します。押すごとに 1 段階づつ変化します。

□　音量 DOWN キー
　音量を下げるときに使用します。押すごとに 1 段階づつ変化します。

メモ
・キーを押すと「ザッ」という音が聞こえますので最適な音量に調節してください。
・安全のため、キーを押し続けても音量は変化しないようになっています。適切な音量になるまでキー操作を繰り返してください。
・電源を OFF（または電池を交換）すると、音量は初期値に戻ります。

□　イヤホン端子（φ 2.5）
　付属のイヤホンを接続します。

メモ
・付属のイヤホンは左右どちらの耳でもお使いになれます。イヤホン部分を回転させて耳に合うように調整してください。

□　インジケーター（赤ランプ）
　電源を入れると点灯します。
　電池容量が減少する（電池の交換時期が近づく）と点滅します。
　P.11 を参照し、電池を交換してください。

□　電源スイッチ
　左方向にスライドさせると電源が入ります。
（電源が入ったことを知らせる「ピポパ」音が鳴ります。）

連続送信のガイドシステム構成について

3 分の時間制限なく通話したい場合には、送信機側をローパワー(1mW)
に設定することにより可能となります。
チャンネルは B12～B29 の範囲で設定してください。

注意 ・送信機からの電波が非常に弱くなるため、カバーエリアが大幅に
狭くなります。

送信機が DJ-R100D/DJ-P23 の場合の設定

送信機をモード番号「3」、周波数帯「B」に設定し、セットモードで
連続送信（ローパワー）の設定にします。
次に自動接続手順解除機能で OFF を選択し、チャンネルを B12～B29
の範囲で DJ-RX2C と合わせます。

※グループ番号(P.19)を使用することもできます。

送信機が DJ-R20D の場合の設定

送信機をモード番号「8」、周波数帯「B」に設定し、セットモードで
連続送信（ローパワー）の設定にします。
チャンネルを B12～B29 の範囲で DJ-RX2C と合わせます。

※DJ-R20D のモード番号「8」におけるグループ番号は特殊なもので、
この組み合わせではグループ番号を使用することができません。

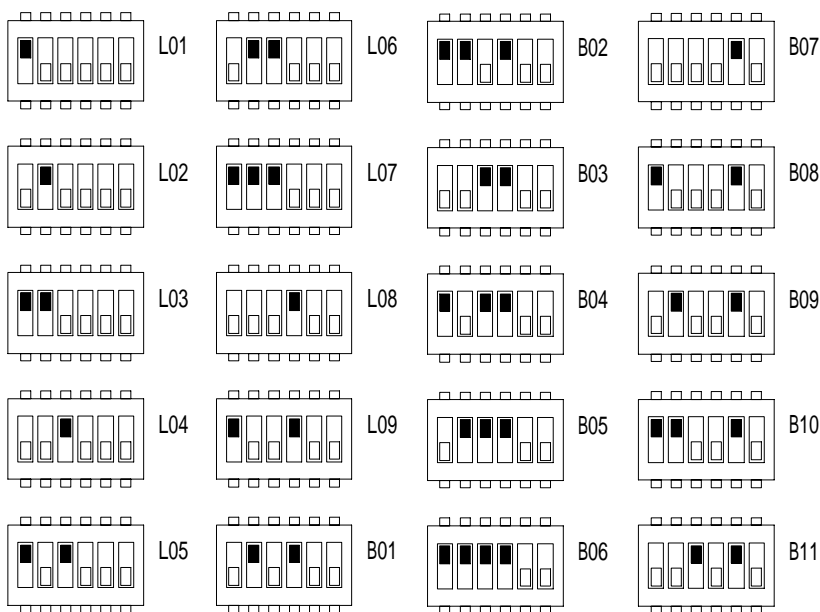
2 スイッチの設定方法

スイッチを設定する前にお読みください。

受信チャンネルの設定方法

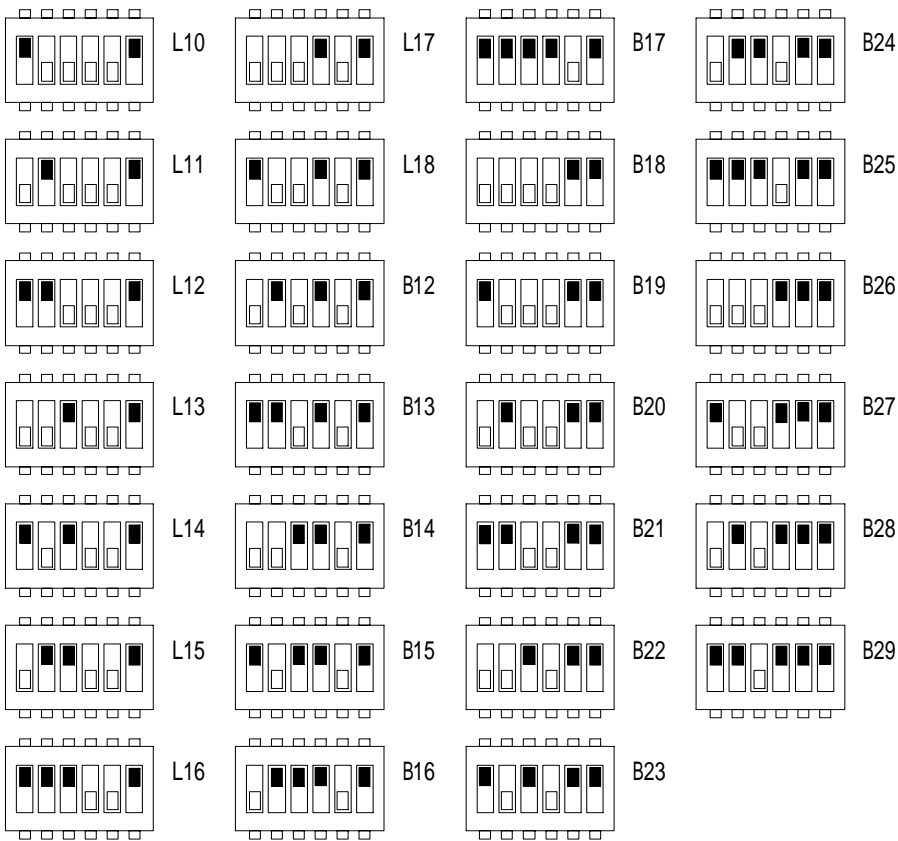
受信チャンネルの設定方法について説明します。
本機のチャンネルは、従来の特定小電力トランシーバーのチャンネル番号と同じです。

□ **交互通話用チャンネルの設定**

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L01ch～L09ch と 11ch 方式の B01ch～B11ch に合わせることができます。

メモ

・スイッチの切り替えにはペン先のような先端の丸いものをお使いください。ナイフのような鋭利なものではスイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。
・無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L01ch」となります。

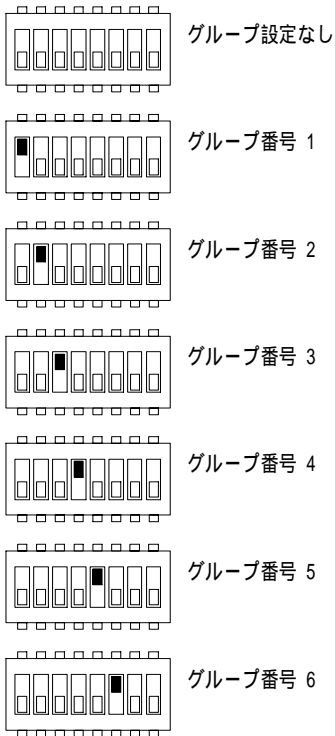
□　中継通信用チャンネル（周波数帯 A:421MHz 帯受信）の設定

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L10ch〜L18ch と 11ch 方式の B12ch〜B29ch に合わせることができます。

メモ
- ・無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L10ch」となります。
- ・送信機側の周波数帯を「A」、中継器側の周波数帯を「B」に設定してください。

グループ番号の設定方法

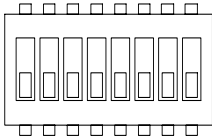
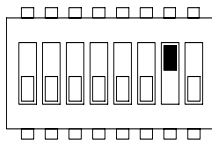
グループ番号の設定方法について説明します。
この設定をおこなうと、同じグループ番号が設定された信号を受信した時だけイヤホンから音声が聞こえます。

□　グループ番号（6 種類）

設定スイッチ 1 の倒し方で、グループ番号 1～6 の中から 1 つを選んで設定することができます。
送信機側も“ グループトーク機能 ”と呼ばれている設定をおこなってください。

メモ
- **他の特定小電力トランシーバーのグループトーク機能のグループ番号 1～6 と共通です。**
- **グループトークはトーンスケルチと呼ばれることもあります。**
- **この機能は秘話機能ではありません。**

コンパンダー機能の設定方法

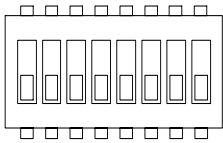
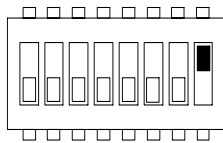
コンパンダー機能を設定すると、音声通話の明瞭度を上げる（バックノイズを大幅に軽減させる）ことができます。
初期状態では OFF に設定されています。

□ 設定スイッチ 1 の 7 番ピンを ON（上側）にすることにより、コンパンダー機能を ON に設定することができます。

コンパンダー機能OFF

コンパンダー機能ON

注意	・コンパンダー機能のないトランシーバーの信号を受信する場合は、コンパンダー機能を OFF に設定してください。

ニッケル水素充電池(EBP-68)充電機能の設定方法

オプションの充電器(EDC-153A)でニッケル水素充電池(EBP-68)を充電することができます。
充電時間は約 10 時間です。初期状態では OFF に設定されています。

□ 設定スイッチ 1 の 8 番ピンを ON（上側）にすることにより、充電機能を ON に設定することができます。

充電機能OFF

充電機能ON

メモ ・ニッケル水素充電池(EBP-68)を長期間使用しない場合は、常温付近で保存し、6 ヶ月に 1 回は満充電をおこなってください。

注意 ・単 4 形乾電池装着時には絶対に ON にしないでください。液漏れや発熱、破裂を起こし、事故や故障の原因となります。
・誤った操作により起きた不具合は、保証の対象外となりますのでご了承ください。

付　録

本機の補足事項について記載しています。

各チャンネルの受信周波数

■　レジャーチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
L01	422.2000
L02	422.2125
L03	422.2250
L04	422.2375
L05	422.2500
L06	422.2625
L07	422.2750
L08	422.2875
L09	422.3000

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
L10	421.8125
L11	421.8250
L12	421.8375
L13	421.8500
L14	421.8625
L15	421.8750
L16	421.8875
L17	421.9000
L18	421.9125

■　ビジネスチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
B01	422.0500
B02	422.0625
B03	422.0750
B04	422.0875
B05	422.1000
B06	422.1125
B07	422.1250
B08	422.1375
B09	422.1500
B10	422.1625
B11	422.1750

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
B12	421.5750
B13	421.5875
B14	421.6000
B15	421.6125
B16	421.6250
B17	421.6375
B18	421.6500
B19	421.6625
B20	421.6750
B21	421.6875
B22	421.7000
B23	421.7125
B24	421.7250
B25	421.7375
B26	421.7500
B27	421.7625
B28	421.7750
B29	421.7875

トーン周波数一覧

■　グループ番号トーン周波数一覧

番号	周波数［Hz］
1	67.0
2	71.9
3	74.4
4	77.0
5	79.7
6	82.5

オプション一覧

EME-27　イヤホン（耳掛けタイプ　DJ-RX2C 付属品）
EME-18　イヤホン（ストレートケーブル）
EME-25　イヤホン（カールコード）
ESC-43　キャリングケース（背面クリップ付き）
EBP-68　ニッケル水素充電池（1.2V 920mAh　単 4 形）×2
＊ EDC-153A　標準充電器セット（ツイン型）
＊ EDC-153R　連結スタンド（ツイン型）

＊EDC-153A に 3 台の連結スタンド(EDC-153R)を連結して、DJ-RX2C を最大 8 台まで同時に充電することができます。
（充電池 EBP-68 は、単体で充電することはできません。）

故障とお考えになる前に

本機が故障かな？と思ったら、まずこちらをお読みください。

症 状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。充電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。(P.14)
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。(P.17～P.18)
	相手と距離が離れすぎている。	場所を移動してから受信してください。
	グループ番号が違う。	グループ番号を合わせてください。(P.19)
充電しない。(オプション充電器使用時)	充電端子が汚れている。	本体背面の充電端子、充電器側の充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。
新しい電池に交換、または充電池を充電してください。

■　**製造中止製品に対する保守年限に関して**

製造中止製品に関しては、下記の一定期間、補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。

※補修用部品の保有期間は、製造中止後 5 年です。

定 格

受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000～422.3000MHz 421.8125～421.9125MHz(12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ)
	ビジネスチャンネル	422.0500～422.1750MHz 421.5750～421.7875MHz(12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ)
発振方式	水晶発振周波数シンセサイザ方式	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBμ以下（12dB SINAD）	
中間周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450KHz	
音声出力	50mW 以上（8Ω負荷時）	
定格電圧	DC2.4V～DC3.0V	
消費電流	受信定格出力時 約 60mA 受信待ち受け時（平均）約 15mA	
動作温度範囲	-10℃～+50℃	
寸法	54(W)×75(H)×15(D)mm （突起物除く）	
重量	約 36g（乾電池除く）	

※仕様・定格は予告なく変更する場合があります。

●本書の説明用イラストは、実物とは異なることがあります。

●本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
乱丁、落丁はお取り替えいたします。